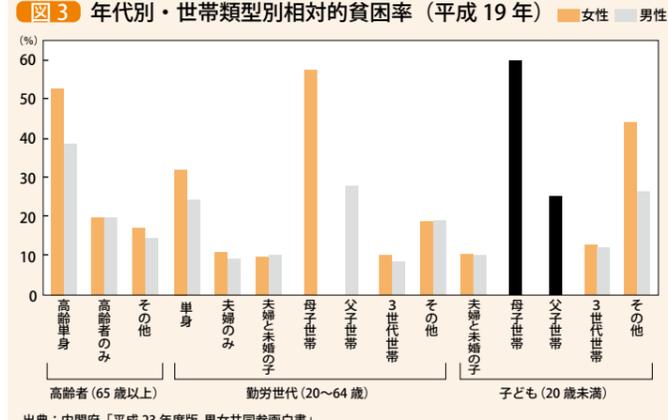


貧困率が高い「ひとり親家庭」

シングルマザー・シングルファザー
それぞれが抱える困難

ひとり親家庭の貧困率は50.8%というデータがありますが、シングルマザーのほうが収入が低いのもっと貧困率は高いでしょう。日本のシングルマザーの就労率は80.8%で世界有数の高さなのですが、平均年収は23万円(就労収入181万円)に留まっています。つまり、働いているのに貧困なのです。シングルマザーが新しく仕事を探



すと、多くの場合、時給の低い非正規雇用から始めることになり。なかなか正社員にはなれませんが、ダブルワーク等も必要になってきます。長時間労働をすることになるので、どうしても子どもと過ごす時間は不足し、周囲との交流ができず、社会的にも孤立しがちです。そのうえ健康を損ねることもあり、住宅費の負担も重いものです。子どもの教育費が捻出できず、貸付金を借りる方も少なくありません。また、生活保護費の給付基準以下の水準で生活している方も多いというのに、世間からの風当たりは依然として強いです。

一方、シングルファザーにはシングルファザー固有の困難があります。シングルファザーの平均就労収入はシングルマザーの約2倍なのですが、実際には両親などと同居しない、かなり苦しい状況に置かれています。その大きな原因に「男性は長時間労働をして一人前」という価値観があります。今の日本では、男性が育児をすることになっても、それに合わせて働き方を変えるのはまだ困難です。結局は退職・転職せざるを得なくなり、非正規労働者になったり年収が

下がりたりする男性が非常に多いのです。

シングルマザー・シングルファザー
どちらにも生きづらいシステム

ここで、日本が男性正社員の片働きを前提としてきた社会だということをお話しください。補助的な労働の妻と長時間労働で正社員の夫を想定したシステムの枠には、シングルファザーも当てはまらないのです。仕事と家事や育児等の両立ができるシステム、いわゆるワーク・ライフ・バランスの欠如が、シングルマザーとは逆の方向からシングルファザーに困難を招いているのです。

さまざまな困難にある人を包摂できる社会へ

親と子の貧困の連鎖、そして世代間意識の格差

親の貧困は、子どもに連鎖する傾向があります。日本は税金を低めに抑え、教育や福祉を家庭・企業頼みにしてきましたが、世界的に見ても教育費の私費負担が非常に高い国です。このへんは教育費をかけられる家庭に生まれたかで、将来がある程度決まってしまうのです。

今、大学生の50%以上が奨学金を借りており、アルバイトをしています。その労働環境もかなり厳しいようです。大学の学費が上がると、多額の奨学金を背負って卒業しても就職できるかは限らない。就労生活などで若者の自殺数も増えています。また就職活動で未だに女性のほうが不利という現実もあります。にもかかわらず、この若い世代の状況は上の世代に正しく理解されていません。「意識の世代間格差」も貧困問題の大きなネックです。「努力が足りない」「甘え」と誤解され、今、若者は追い詰められているのです。

自分に合った居場所を見つけよう

昔は普通とされていた「夫婦と子ども」

子どもという世帯は、今はもう3割以下で、単身世帯や未婚の男女も多く抱える問題もそれぞれ異なっています。もはやかつての「普通」は実際には普通でない時代になっているのですが、かつての「普通」という価値観にとらわれ、そうでないことに引け目を感じ、隠す人も多いようです。「恥はかかしてナンボ」です。家族の悩みなどを内に抱えるのではなく、外に出してしまおう。つらいことを話せる相談先を見つけてみましょう。解決を手伝うところが少なく、多くの方がしんどい状況にいますが、困ったときにはひとりでもがんばらなくてください。あなたのように悩んでいる人は他にもいるはず。また、自分に合った居場所を見つけていきましよう。

生きている人を他にもいるはず。また、自分に合った居場所を見つけていきましよう。

生きている人を他にもいるはず。また、自分に合った居場所を見つけていきましよう。

生きている人を他にもいるはず。また、自分に合った居場所を見つけていきましよう。

Mさん 20代前半 子ども1人 (2歳1カ月)

看護師を目指しており、来年から学校に通うつもりなので、今は家事や育児しながら受験勉強に取り組んでいます。私自身はママの集まりなどで情報交換をする機会もあり、心細さは特にはないのですが、子どもにもっと親しい友達がいたらいいな、とは思っています。嫌なことがあっても、家事などをしていっているうちに自然に感情が切り替わっていますね。「何もかも全部やらなきゃ」ではなく「子どもとしっかり遊んで、それから勉強」という気持ちでやっていると、子どもが小学校に入る頃には自立して、平穏に暮らしたいです。

安心してつながりがあるっていいな

シングルマザーの声

Hさん 20代後半 子ども1人 (2歳3カ月)

子どもを保育園に預け、コンビニでアルバイトをしています。本当はフルタイムの仕事を探しており、資格を活かせる職も含めて何十社も面接を受けたのですが、子どものことではいつも渋られました。気持ちは常に煮詰まっていて、自分の時間が欲しいと感じることもありますが、「シングルマザー=かわいそう、大変」という見方は嫌だなーと思います。この時期は今しかないで、しばらくは育児に力を入れて子どもの成長を大切に見守っていきたくです。シングルマザーが気兼ねなく交流できる専門のカフェなどがあればいいですね。

偏見イマイヤ

生きやすくなるためのヒント

- あなたに合った相談窓口を利用しよう
- 悩みはひとりで抱えないで、誰かに「助けて」と言おう
- あなたを守ってくれる労働法や福祉のしくみを知ろう
- 安心できる自分の居場所を見つけよう
- よくやっている自分にご褒美をあげよう

周囲にいる人ができること

- 「おせっかいおばさん・おじさん」になって困っている人たちの話を聞き、ちょっと手助けしよう
- 民間の支援機関に寄付をしよう
- 問題をほかの人と話してみよう
- しんどそうな人に「努力が足りない」「自己責任」と言うのは止めよう

相談窓口案内

相談内容	担当部署・団体	お問い合わせ先	相談内容	担当部署・団体	お問い合わせ先
女性相談	男女平等推進センター	☎ 042-439-0075	受験生チャレンジ支援貸付	西東京市社会福祉協議会	☎ 042-422-2010
子供家庭相談	子ども家庭支援センター	☎ 042-439-0081	生活福祉資金貸付		☎ 042-438-3771
母子相談	子育て支援課	☎ 042-460-9840	母子家庭全般	しんぐるまざあず・ふぉーらむ	☎ 03-3263-1519
教育相談	教育相談センター	☎ 042-425-4972	生活全般	自立生活サポートセンター・もやい	☎ 03-3266-5744
生活相談	生活福祉課	田: ☎ 042-460-9836 保: ☎ 042-438-4027	若者相談	みたか地域若者サポートステーション	☎ 0422-70-5067
からだやこころの健康相談	健康課	☎ 042-438-4087	生活・仕事・心の悩みなど	よりそいホットライン	☎ 0120-279-338
男性のための悩み相談	東京ウィメンズプラザ	☎ 03-3400-5313			

※ 相談日時は各相談先により異なりますので、詳細につきましては直接お問い合わせください

● **求職者支援制度** … 雇用保険を受給できないなどの条件に当てはまる求職者が、職業訓練や就職支援を通じて早期就職に取り組める制度

● **高等技能訓練促進費等事業** … ひとり親家庭の親が看護師や介護福祉士などの就職につながるやすい資格を目指して養成機関で学ぶ場合に、月々の高等技能訓練促進費等を受給できる制度

※ 共に各種要件あり